

# 平成30年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

## ■総括的概要

社会福祉法人の制度改革により施行された改正社会福祉法で、ガバナンスの強化や透明性の向上、地域における公益的な活動を行うことが責務として位置付され、これまで以上に社会福祉法人としての社会的使命を積極的に展開すると共に「見える化」に取り組んできました。

住民参画による地域の支え合い、「我が事・丸ごと」の理念で地域福祉を推進するため、「地域福祉活動計画」の策定準備期間として、これまでの社協活動をとおして培ってきた人と人のつながり、地域の様々な課題の把握、あらゆる生活課題への対応等を検証し、内部研修等に取り組んでいます。

町からの様々な受託事業、赤い羽根共同募金からの配分金で実施する事業を役職員一丸となって地域の皆さんの期待に応えられる様に努めています。

## ■事業別実績

### 1. 法人運営

#### (1) 法人運営事業

##### ① 会議の開催

##### ア) 理事会・評議員会の開催

名 称	期 日	内 容
監査会	5月15日(火)	・平成29年度決算監査
第1回理事会	5月29日(火)	・会長の職務執行状況報告 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・役員候補者の推薦 ・平成29年度事業報告書の承認 ・平成29年度収支決算書及び貸借対照表並びに財産目録の承認 ・監査報告 ・定時評議員会の招集
評議員選任・解任委員会	6月5日(火)	・評議員の選任
第1回評議員会	6月14日(木)	・評議員の就任

第2回理事会	8月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の選任</li> <li>・ 平成29年度事業報告の承認</li> <li>・ 平成29年度収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録の承認</li> <li>・ 「平成30年7月豪雨」による災害支援</li> <li>・ 評議員・理事・監事選出規定の一部改正</li> <li>・ 平成30年度敬老の日お祝い事業</li> <li>・ 会長の職務執行状況</li> </ul>
監査	12月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度前期監査</li> </ul>
第3回理事会	2月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長の職務執行状況について</li> <li>・ 県の指導監査による結果報告</li> <li>・ 役員報酬規程の一部改正</li> <li>・ 評議員、理事会及び監事並びに各種委員会等の費用弁償に関する規程の一部改正</li> <li>・ 評議員の招集</li> <li>・ 選考委員の選出</li> </ul>
第2回評議員会	2月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の指導監査による結果報告</li> <li>・ 役員報酬規程の一部改正</li> <li>・ 評議員、理事及び監事並びに各種委員会等の費用弁償に関する規程の一部改正</li> <li>・ 選考委員の選出</li> </ul>
第1回役員選考委員会	2月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員(監事)の選考</li> </ul>
第4回理事会	3月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員選考委員会の報告</li> <li>・ 平成30年度第1次補正予算の承認</li> <li>・ 平成31年度事業計画の承認</li> <li>・ 平成31年度予算の承認</li> <li>・ 評議員会の招集</li> <li>・ 平成30年度赤い羽根共同募金の実績</li> </ul>
第3回評議員会	3月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員選考委員会の報告</li> <li>・ 平成30年度第1次補正予算の承認</li> <li>・ 平成31年度事業計画の承認</li> <li>・ 平成31年度予算の承認</li> </ul>

(2) 組織運営及び機能強化

① 財務運営管理

適正な財務管理に努めました。

② 個人情報保護法への対応

個人情報の守秘義務の認識及び漏えいの防止を厳守しました。

(3) 役職員の資質の向上

役員及び職員の研修体制の確立及び各種研修会への積極的な参加を推進しました。

総務・総合相談

朝倉地区障害者自立支援部会 子ども支援部会研修	6月22日(金)・ 12月6日(木)・12月7日(金)
精神保健福祉夏季講習	8月1日(水)・8月2日(木)
福岡視力障害センター訓練公開研修	6月28日(木)
福岡県小児等在宅医療推進事業小児在宅研修	6月30日(土)
障害支援区分認定調査員研修	11月22日(木)
就労支援機器説明会	8月23日(木)
相談支援事業所管理者集団指導	6月28日(木)
アルコール・薬物等関連問題研究協議会	6月28日(木)
相談支援従事者専門コース別研修 (意思決定支援)	3月4日(月)
精神障がい者地域支援会議及び地域移行支援 連絡会	3月5日(火)
日常生活自立支援事業研修	8月28日(火)・12月25日(火) 2月25日(月)
会計担当者研修	9月6日(木)
社会保険事務講習会	11月13日(火)・2月13日(水)

地域福祉

福岡県社協地域活動職員連絡会総会、研修	5月11日(金)・7月17日(火) 8月10日(金)
福岡県社協事務局長会議	2月21日(木)
福岡県市町村社協新任職員研修会	6月11日(月)
福岡県市町村社協災害ボラセン運営者研修	2月7日(木)

福岡県福祉大会	10月22日(月)
両筑地区社協連絡会会長、事務局長会議・全体会	6月2日(土)
両筑地区社協連絡会事務局長会議	2月5日(火)
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会	4月3日(火)・7月9日(月) 1月11日(金)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	10月19日(金)・2月22日(金)
ふくおかライフレスキュー事業 サポーター養成研修	7月23日(月)・8月29日(水) 8月31日(金)
ふくおかライフレスキュー事業 サポーターフォローアップ研修	11月30日(金)
ふくおかライフレスキュー事業 地区連絡会事務局会議	10月18日(木)
第1回福岡県内公設NPO・ボランティア センター連絡会、研修	6月26日(火) 2月5日(火)
地域防災強化研修会(下高場区)	11月10日(土)
地域担当職員研修	2月26日(火)
地域福祉計画策定研修会	3月15日(金)

#### (4) 事務局体制の整備

事務局機能の効率化と総合力を高め、企画・立案、事業運営向上に努めました。

#### (5) 地域福祉活動計画の策定

全事業の分析・整理・意見交換を勤務時間外に月1回実施し、策定に向けての職の共通認識を図りました。

町の第3次地域福祉計画策定作業と同時に策定作業ができるように本年度を準備期間として社協事業の検証・内部研修等を行っています。

#### (6) 広報活動の推進(広報・ホームページ)

社協の事業を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を得られるように努めました。

##### ① 広報誌発行

- ・「ちくぜん社協だより」を年4回(5月、8月、10月、1月)発行しました。
- ・「共同募金だより」(3月)を発行し募金額や用途について報告しました。

##### ② 町発行広報誌「広報ちくぜん」による広報・情報提供をしました。

##### ③ ホームページに福祉情報を掲載しました。

## 2. 社会福祉事業

### (1) 独自事業

#### ① 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごとなどを相談する窓口として開設し、相談員が助言を行いました。また、無料弁護士相談や専門的に相談できる機関を紹介し問題解決の手助けを行いました。

#### ア) 心配ごと相談

・毎月第1、第3金曜日に相談日開設

相談員 行政相談委員 2人 調停相談員 2人 人権擁護委員 7人  
民生児童委員 4人 母子相談員 1人

相談実績 28件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	4	3	2	4	2	2	2	3	0	3	3	0

#### 相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生 計	2	1			1	
年 金	1	1				
生 業・職 業	1	1				
住 宅	1	1				
家 族	7	2				5
結 婚	2		1		1	
離 婚	0					
健康・衛生	0					
医 療	0					
精神衛生	0					
人権・法律	1				1	
財 産 (相続、財産分与)	4	1			2	1
事 故	1	1				
児童福祉・母子保健	0					
教育・青少年	0					
心身障害者 (児) 福祉	0					

母子・福祉	0					
老人福祉	3	2			1	
苦情	1	1				
その他(災害後の家族の生活、借金、不安の解消等)	4	1			2	1
合計	28	12	1	0	8	7

イ) 相談員研修

- ・平成30年6月25日(月)・26日(火)「人権相談従事職員研修」
- ・平成31年2月14日(木)「身近なお金の話について」

(2) 受託事業

① ふれあいいいきサロン事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域みんなが支え合い、共に元気で楽しく心を通わせる場となるサロンに取り組みました。

- ・実施区 37地区 (新規開催 一木地区・再開 石櫃区)
- ・延実施回数 381回
- ・延参加者数 6,802人

ア) サロン代表者会議

各区のサロンが円滑に実施できるように3回実施しました。

4月20日(金)	サロンについて(予定表・会員数など) 助成金交付
9月12日(水)	合同交流会について
2月12日(火)	今年度報告・次年度計画について 地域支え合いのすすめ

イ) 合同交流会

地域が一つとなり地域のつながりが持て、参加者との交流を深めることを目的に12月に開催しました。

3日(月) 6日(木) 10日(月) 13日(木) 計4日

会場 下高場区公民館

参加地区数 33地区

参加者総数 667人

ウ) サロン応援隊の増員



- 10月24日(水) アイアイフレンズ「紙芝居」
- 11月7日(水) 喜翔演芸
- 12月19日(水) クリスマス会
- 1月18日(金) 出前講座「高血圧予防の話」
- 2月15日(金) 出前講座「レクリエーション用具であそぼう！」
- 3月15日(金) 出前講座「交通安全講話」

④ 敬老館食堂事業

敬老館利用者等に安全でおいしい食事を提供し、積極的にコスト削減に取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	372,090	410,700	392,800	372,110	386,100	388,400
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	393,920	399,120	360,060	364,010	399,370	407,050
					合計	4,645,730

⑤ 放課後児童健全育成事業

- ア) 安全第一での運営を推進するため「安全管理マニュアル」を作成しました。
- イ) 統括支援員が随時学童保育に入り支援員との連携強化に努め、大きな事故やトラブルを未然に防ぐことができました。
- ウ) みわっ子SUN<sup>2</sup>クラブが最大受入児童数を超える入所があったため、第2学童を総合支所別館2階に開設しました。入所児童の減少に伴い、12月に第2学童を閉所しました。

入所児童数

	みわっ子SUN <sup>2</sup> クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月
1年	26	27	33	24	19	17
2年	25	17	17	15	25	22
3年	26	22	16	10	16	15
4年	8	5	6	5	4	3
5年	3	1	4	4	2	2
6年	0	0	0	0	1	1
合計	88	72	76	58	67	60

※夏休みだけの受け入れ 0人

## 学童連絡会の開催

関係機関との連携と情報共有の場として、こども課、こども未来センター、教育課、各小学校学童担当教諭が参加で実施しました。

	3学童合同	みわっ子 SUN <sup>2</sup> クラブ	のびのび クラブ	すくすく クラブ	合計
開催回数	2	3	3	1	9

## 各研修会の参加

放課後支援員が研修会に参加し、質の向上に努めました。

- ・ 6回の各種研修会に延べ14名が参加

## 保護者会、役員会の開催

保護者の学童行事の実施等、連携に努めました。

- ・ 各学童で保護者会2回、役員会1回を実施し、保護者主催行事を実施

## ⑥ 障害者相談支援事業

### ア) 指定一般相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や、権利擁護のための必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行い、多様な相談の対応が行えるように体制の強化を図りました。

精神 144件・知的 262件・身体 213件・障がい児 20件・その他 6件  
計 645件

### イ) 障がい相談日

月2回第1・第3金曜日の心配ごと相談日に合わせて開設しました。障がい者(児)に限らず、障がいに関する多様な相談に障害者相談支援専門員が対応しました。

相談件数 9件

### ウ) 障害者支援区分認定調査

障がい福祉サービスを受ける必要性を調査し、調査票の作成を行いました。

調査数 162件

### エ) 指定特定相談支援事業

利用者の意思を尊重し、サービス等利用計画・モニタリング(計画の見直し)の作成を行いました。また、安心した日常生活が送れるよう関係機関と連絡調整を行い、相談の充実を図りました。

サービス等利用計画(モニタリング含む) 45件

## ⑦ コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営む為の情報を得る手段として手話通訳者の派遣

を行いました。

・利用登録者 12人 通訳登録者 20人 利用実績 46件

⑧ 在宅介護者の支援

在宅で介護をしている介護者が日頃の疲れを癒しリフレッシュすることを目的とし、同じ悩みをもつ者同士の交流や情報交換の場として実施しました。

そつたく基金を活用し年3回実施しています。

開催日	5月23日(水)	10月19日(金) 22日(月)	2月25日(月)
行先	宗像市	柳川市	花立山温泉
参加介護者数	20人	32人	18人

⑨ 生活福祉資金貸付事業

県社協の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行いました。

平成30年度貸し付け相談件数 38件  
貸付決定 教育支度資金 2件  
緊急小口資金 5件

⑩ 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。

平成30年度利用者 高齢者 1人  
知的障がい者 2人  
精神障がい者 2人  
身体障がい者 1人 計 6人

⑪ ボランティアセンター運営事業

地域住民を対象にしたボランティアの理解と活動の推進をおこないました。

また、登録ボランティアの活動の場を広げ、活動数を増やしました。

・ボランティア登録者数 団体 17団体(206人)  
個人 49人  
・ボランティア調整数 依頼 62件  
マッチング 58件  
延活動者 153人

ア) 情報の発信

- ・センターだより（6、9、12月）を発行しました。
- ・ホームページの更新  
センターだより、ボランティア講座の募集、レクリエーション用具のカタログの掲載をおこないました。

イ) ボランティア依頼の対応および活動の提供

- ・ボランティア依頼への対応及びボランティアへの調整をおこないました。
- ・登録ボランティア（個人）へ活動調査をおこない、活動の場を調整しました。

ウ) 行政、生活支援コーディネーター、協議体との連携

- ・生活支援コーディネーターと連携をし、生活支援ボランティア講座を2回実施し人材野発掘と育成をおこないました。

エ) ボランティアセンター運営委員会の実施

4月、11月に運営委員会を実施しました。

オ) 各種ボランティア講座の実施

- |                      |                   |         |
|----------------------|-------------------|---------|
| ・ 6月29日（金）           | 高齢者生活支援ボランティア講座   | 受講者 20人 |
| ・ 11月29日（木）          | 高齢者生活支援ボランティア講座   | 受講者 14人 |
| ・ 8月 1日（水）～3日（金）     | 小・中学生向け手話体験講座     | 受講者 13人 |
| ・ 10月11日（木）          | 視覚障がい者ガイドボランティア講座 | 受講者 7人  |
| ・ 11月10日（土）          | 声のボランティア講座        | 受講者 16人 |
| ・ 12月 1日（土）          | 聞こえのサポーター講座       | 受講者 14人 |
| ・ 10月3日（水）～11月21日（水） | 手話体験講座（毎週水曜・全8回）  | 受講者 10人 |

⑫ 生活支援コーディネーター事業

いつまでもこの地域で暮らしていけるように、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう身近な地域での支え合いを推進しました。

- ・ 出前講座「地域支え合いのすすめ」を通じた、お互いさまのすすめを推進しました。
- ・ 地域ケア会議参加による、地域現状の把握に努めました。
- ・ 出前講座「介護予防のための軽運動」を通じた、介護予防や地域活動を推進しました。
- ・ サロンやシニアクラブ、各区の見守りネットワーク会議に参加し、地域課題の把握に努めました。
- ・ 一つの地域で、買物支援活動が開始されました。

### (3) 共同募金配分金事業

#### A. 高齢者福祉事業

① サロン応援隊の育成（ふれあいいいきサロン）

・レクリエーション研修を実施しました。

5月31日（木） 緊張をほぐすレクリエーション 参加者 7人

9月15日（土） フレイル予防体操 参加者 8人

9月22日（土） 健康レクササイズ 参加者 14人

・毎月定例で勉強会を実施しています。

② ひとり暮らし高齢者のつどい

70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、閉じこもり予防、生きがいつくり、交流を図ることを目的に開催しました。

太宰府市 11月 7日（水）・8日（木） 参加者総数 42人

③ 敬老の日祝事業

敬老の日の祝いとして、白寿（99歳）と米寿（88歳）を迎えられた方に記念品（商工会商品券）を贈呈しました。

白寿 10人（10,000円） 米寿 144人（5,000円）

④ 金婚お祝い事業

結婚50年を迎えられた30組のご夫婦にお祝いの記念品を贈呈しました。

#### B. 障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

障がい者同士の情報共有や交流、住民への障がい者理解を図りました。

開催日 11月6日（火）

内 容 サンドイッチ作り・ヤクルト健康講座

参加者 28人

② 重度障がい者の交流会

社会参加の機会と他者との交流を図りました。

開催日 6月6日（水）

場 所 「ハクハク」（明太子のふくや工場見学）

参加者 31人

③ 福祉用具の貸与 51件

車いす等 48件

福祉用具（アイマスク・点字器・白杖等） 3件

## ④ 身体障害者福祉協会の活動支援

身体障害者福祉協会の自主的活動の助言と事務を支援しました。

## C. 児童・青少年福祉事業

## ① 小学生の福祉教育の推進

各小学校区の地域性、学年に応じた福祉への理解と芽生えを目的に、福祉教育を推進しました。

ア) 福祉教育プログラム「知ってる？赤い羽根共同募金」を作成し、町内3小学校で実施することができました。

イ) 福祉教育教材「ともに生きる」を全小学校の4年生へ配布しました。

・配布数 三輪小学校 140 冊 三並小学校 15 冊 中牟田小学校 62 冊  
東小田小学校 80 冊 合計 297 冊

ウ) 福祉教育プログラム「知ってる？赤い羽根共同募金」を実施した2小学校から福祉教育の依頼があり、学校と協議し実施しました。

・三輪小学校4年生 ・三並小学校4年生

## D. その他の福祉事業

## ① ボランティア連絡協議会主催事業への支援

・ボランティア連絡協議会が、主体的に運営ができるように側面から支援を行いました。

## ② ボランティア連絡協議会への助成

・ボランティア連絡協議会及び各団体の活動維持、発展のために助成を行いました。

## ③ バス停の管理

・中牟田（下り）・松延（上り）・久光（上り）バス停の補修をしました。

・山家道（上り）バス停の電球交換、松延（下り）バス停の照明器具修理を行いました。

## E. 福祉団体への配分及び支援

シニアクラブ連合会・身体障害者協会・母子寡婦福祉会・遺族会・ボランティア連絡協議会・各小中学校福祉協力校・障がい者小規模作業所等に配分と支援をおこないました。

### 3. その他

#### (1) 社会福祉法人連絡会

##### ア) 社会福祉法人連絡会（施設長会）

「社会貢献活動」を検討する場として、町内7つの社会福祉法人で、それぞれの法人がもっている特性を生かし、どんな社会貢献ができるかを研究しています。

7月24日（火） 災害支援活動報告・情報交換

10月5日（金） 情報交換

2月28日（木） 役員の選任・情報交換

##### ・災害支援

7月の豪雨災害で、床上・床下浸水をした家庭の支援

3件 11日 延 55人が活動

##### ・リユース品保管場所の借用契約

##### ・セブンイレブンジャパン閉店時商品寄贈契約

##### イ) サポーター部会

県内の社会福祉法人がネットワークを構築し、「みんなの暮らしを支える」活動として、福岡ライフレスキュー事業を推進しています。筑前町でも、ライフレスキューサポーター研修を終えたサポーターが、生活上の困りごとの解決に向けて取り組みました。

部会（定例月1回） 10回

支援ケース 7件 拠出金 2件 76,280円

支援活動回数及び延活動人数 42回 98人

リユース品援助 1件（冷蔵庫・食器棚・布団等、生活用品）

関係機関 県保護課・福祉課・こども課・税務課・両筑地区社協

社会資源 遺品整理ポルテ・済生会二日市病院

#### (2) まちづくり出前講座

①介護予防のための軽運動 4回

②レクリエーション用具で遊ぼう 2回

③はじめてみよう！ボランティア活動 1回